

松山逃げ遅れゼロプロジェクト推進講演会
「大規模気象災害から命を守るマイ・タイムライン活用の展開」

地球温暖化の進展で豪雨災害が頻発しています。「平成27年9月関東・東北豪雨」では、国が管理する一級河川である鬼怒川の堤防が決壊しました。その結果、5千名もの人々が取り残され、ヘリやボートで救助される事態を招きました。堤防の決壊発生が日中であったので、幸いにも犠牲者は少なく済みました。しかし、堤防決壊が夜間であれば、もっと多くの犠牲者が出たと思われます。

この事態を受けて、国土交通省は、マイ・タイムラインの導入に着手し、避難意識の向上に取り組んできています。しかし、平成30年7月豪雨災害に見られるように、相変わらず避難が遅れたことにより、多くの犠牲者が出ています。事前避難をするためには、大雨警報などが出れば、必ず避難するという当事者意識を持ってもらうことが大切です。そのような避難意識の向上には、マイ・タイムライン作成の取り組みが効果的と考えられます。

そこで、松山市の50万市民を対象にマイ・タイムラインを活用した逃げ遅れゼロプロジェクトに取り組みます。50万市民を対象とした組織的な取組みが可能となれば、その成果を全国的に展開できます。本プロジェクトは、50万市民全員を対象にするという意味で極めてチャレンジングな取り組みです。

以下に示す要領で講演会を開催します。多数、ご参加頂けますようご案内申し上げます。

記

主 催 愛媛大学防災情報研究センター(松山防災リーダー育成センター)、松山市

共 催 松山市教育委員会、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所

松山市自主防災組織ネットワーク会議、松山市消防団、松山市女性防火クラブ連合会、

松山市社会福祉協議会、一般社団法人四国クリエイティブ協会、

松山中央ライオンズクラブ、松山白鷺ライオンズクラブ、愛媛県中予地区郵便局長会

日 時 令和4年5月10日(火) 13:30～16:00

会 場 愛媛大学南加記念ホール

(松山市文京町3 市内電車日赤前下車北へ100m、愛媛大学正門のすぐ右側の建物)

定 員 100名(コロナ対応のための会場定員の半数とします) オンラインも併用します

申込み 氏名、所属、連絡先(住所、あればE-mail、TEL)を記すとともに、会場参加か、オンライン参加かを明記して、4月27日(水)までに申し込んでください。(申込み先: E-mail nakajima@cee.ehime-u.ac.jp FAX 089-927-8141 中島まで)

参加費 無料

講演内容

13:30-13:35 開会挨拶 松山市長 野志 克仁

13:35-13:45 共催団体代表者紹介

13:45-14:35 基調講演「水害リスク情報の整備と住民等の円滑な避難のための取組」
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室長 長田 仁

14:40-15:55 事例発表

1. 重信川の治水対策と最近の洪水災害

国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所 副所長 藤田博史

2. 松山逃げ遅れゼロプロジェクトの展開

松山市総合政策部防災・危機管理課 市民防災担当課長 芝 大輔

3. ジュニア防災リーダーの取組みを核とした松山市内全中学1年生へのマイ・タイムライン作成講義の継続的実践
～松山市立椿中学校等の取組み事例を中心として～

松山防災リーダー育成センター 特定教授 中尾順子

4. 松山防災文化の育成に向けて

松山防災リーダー育成センター センター長

矢田部龍一

15:55-16:00 閉会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター センター長 バンダリ ネットラ・P

(新型コロナ・ウィルス対策)

- ・新型コロナ・ウィルス感染症対策のため、入口での検温、手指消毒、マスク着用、間隔を空けての着席等に御協力ください。
- ・愛媛県内における感染拡大状況によっては、延期又は中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(その他)

- ・学内の駐車場は利用できません。公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用ください。
- ・本シンポジウムは、建設コンサルタンツ協会の CPD 単位の申請を行います。単位認定をご希望の方は、申し込み時にご連絡ください。後日、受講証明書等を送付いたします。